

滝千春と安田芙充央 加速する二人の世界@横濱エアジン

アルバム収録曲のお披露目を
濃密な老舗ライブ空間にて

舗にして、スタンダードな枠にとどまらない実験的音楽へのアプローチで名を聞くライブハウスである。

オープニングは、安田さんの代表曲

「スカイ・ラメント」。滝さんが以前

「悲観を意味する」ラメント」という

語が入っていないながら、ベースラインが

上昇する。高みに登った先にある悲し

さを表現しているのかな」と印象を

語った楽曲だ。それに始まり、「メメン

ト・モリ」「失われた人魚の歌」等と流

れていくプログラムには、アルバムの

テーマ「生と死の狭間」を、滝さんの

ヴァイオリンのダイナミクスと冷暖、

五線紙の外ま

で表現が及ぶ

安田さんのピ

アノによって、

耳というより

皮膚で憶える

感覚だ。ジャ

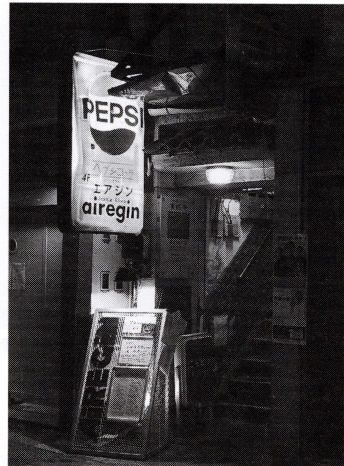
ズやクラシッ

クというジャ

ルの境界はなく、まさに「あちらとこちら」を行き来するような世界感に漂った。

「一番重要な間合い、それをしっかり持っている」

ライブを終えたお二人に、話をうかがうことができた。



横浜は関内・馬車道通りにある横濱エアジンでのライブ「安田芙充央 meets 滝千春」は、『横濱エアジンPresents 横浜国際なんでも音楽祭2026』のオープニング・ライブとして4月29日（水・祝）に行なわれた。会場は20人ほどで満席となる一室で、「ジャズの距離感」ですわ」と横濱エアジン初見参の滝さん。「私はそれがいつも羨ましいなと思って見ていたので、『叶った』という感覚です（笑）」



「サロンコンサートとか小規模なスペースで演奏もしていたので、こういう空間は好きですね。良い意味でのゴチャゴチャ感があつて、境界線がない感じ」

そう話すのは横濱エアジン初出演の滝さん。一方、横濱エアジンとは先代マスターの頃の約40年前から付き合いがあるという安田さん。

「もともとはドイツ・ケルンのオケでトランペットを吹いていた現マスターのうめもと實さんが実験的な方向に舵を切つて、現代音楽家とか小室等さんみたいなフォークの方が出たり、出演者の幅が結構広い。なので、そういう方たちの言葉ならぬ「音霊」みたいなものが詰まった場所だな、ということを強く感じますね」

また今回のライブでは、滝さんが16歳の頃に共演した安田さんの楽曲「天上の弦」も披露。MCで16歳当時の滝さんについて「伴奏をしながら、煽られているような感覚があつた」と語った安田さんに、あらためて実感した滝さんの音のイメージを尋ねると「音楽にとつて一番重要な間合い、それをしっかりと持っている」と明言。

「間合いというのは別にずれてもいいんですが、人によってはまったくお門



今回のライブで演奏された楽曲はすべて、安田美充央さんの作曲によるもの。1曲目に披露された「Sky Lament」は、小説家・榎本憲男氏が監督を務め制作が進む映画作品のエンディングを飾る楽曲でもある

昨年10月にリリースした作品『Schnituke Clowns』(M Classics) が、「レコード芸術ONLINE 2026年1月号」(音楽之友社)の特選盤に選出された滝千春さん。今年も仲間美帆さん等と結成したプロジェクト「MaNGROVE」の全国ツアーや、自身がプロデューサーを務めたイベント「代官山 BLOOM Festival」の開催を成功させるなど活躍が続いている

していかくに演奏するか、ということも、私自身も駆け引きしながらやっていた。それがすごく楽しかったです」

ライブではアルバムの発売時期について「今年10月から11月」とのアナウンスがあった。来春にはピアノ

デュオオヴァイオリン編成のコンサートも予定しているという。次回は二人のどんな科学反応が立ち現れるのか、動向を注視していきたい。

違う方向にずれてしまったりする。でも滝さんはどこでずれてもいいような間合いを持っていて、それはなかなかあることじゃないんですよ。どう転

んでも大丈夫というところを持つているから、何かのタイミングで異常に広がったりもできるわけです」その点について「私としては、安田

さんが書いた譜面のその先に思い描かれたものを掴む、という感覚でした」と滝さん。「そこからさらに私のフィルターを通

滝千春 公演情報

「滝千春 ヴァイオリン・リサイタル」

2026年6月5日(金) 19:00開演

[東京]王子ホール

ピアノ:沼沢淑音

〈Program〉

- ・ベートーヴェン:W.A.モーツァルト「フィガロの結婚」から12のヴァリエーション
- ・L.アウレルバハ:ヴァイオリンとピアノのための24の前奏曲〜
- ・シュニトケ:道化師と子供たち(ヴァイオリンとピアノ版)編曲:根本雄伯
- ・ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 長調 作品100
- ・B. A. ツィンマーマン:ヴァイオリン・ソナタ
- ・ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン・ソナタ 作品134

主催:藍インターナショナル (☎info@ai-international.co.jp)